



ロータリーは
世界をつなぐ



RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

会報

2019 ▶ 2020
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

クラブの活性化と行動は 世界・地域に向けて

会長／福士 幸子 幹事／串橋 伸幸

プログラム

- 本日
「最終夜間例会／理事・役員退任挨拶」
- 次週予定
来賓卓話
留萌信用金庫 理事長 宮井 清隆様

No. 2865
第35回 6月24日

出席報告

前
例
会

会員総数	28名
出免会員	2名
出免出席	2名
基準会員出席	17名
出席率	65.38%

前
々
会

第32回 3月25日

欠席会員	0名
内メイクアップ	0名
修正出席率	100%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 本日臨時理事会を開催し、森将由生会員から出ていた退会届を承認いたしました。
2. 本日例会終了後、皆様にお知らせしていただきました留萌市の新型コロナウイルス感染症対策基金へ医療設備等に使用していただきたいという事で、例会の休会に伴う費用とIM中止に伴う費用の合計50万円を幹事と共に市長に届けて参ります。

🗳️ 幹事報告

- 毎年開催されています留萌市海水浴場クリーン作戦は、コロナの関係で中止となりました。
- 第33回ローターアクト研修会の協賛金を本日集めさせていただきました。皆様ご協力あり

がございました。

- 次週の最終夜間例会は理事役員の退任挨拶がありますが、時間の関係上書面にて会報掲載とさせていただきます。委員長さんの原稿は会報委員会まで、メールFAXにて送信願います。

👥 委員会報告

親睦活動委員会

西谷 委員長

今年度も次週の夜間例会を残すのみとなりました。本日締め切りの出欠は会員22名、パートナー8名の出席で、まだ2名の会員さんの出席確認が出来ていません。早急に連絡をとりたいと思います。当日は会長幹事、次年度会長幹事さん以外は、ラフな服装でOKです。会員パートナー合わせて32名の予定で開催したいと思います。よろしくお願います。

第34回 6月17日(水) 天候/曇

次年度理事会

燕 次年度幹事

本日6時30分より、第1回理事役員委員長会議を留萌産業会館にて開催いたします。関係者の皆様はよろしくお願ひいたします。



ニコニコBOX……………

- 訪問させていただきました。ありがとうございます。
澁谷次年度ガバナー補佐
- 澁谷ガバナー補佐、お忙しい所留萌に御出で頂きありがとうございます。
福士会長
- もう一週ありますが、1年間ありがとうございました。
福士会長
- 例会運営委員長退任いたします。
渡邊会員
- 社会奉仕委員長退任いたします。1年間大変ありがとうございました。
関野会員
- 本日よろしくお願ひします。
串橋幹事
- 澁谷ガバナー補佐、佐々木ガバナー補佐室長ようこそいらっしゃいました。
燕会員
- やっと楓河(子供)が大学に行けるようになりました。
青山会員

前 回	600,000円
今 回	121,000円
累 計	721,000円



プログラム……………

「ガバナー補佐挨拶」

澁谷ガバナー補佐

皆様こんにちは。深川より参りました、次年度ガバナー補佐の澁谷でございます。よろしくお願ひいたします。まずは、對馬ガバナー年度に大嶋会長、堀幹事のご協力により私共深川クラブ創立60周年記念式典にお祝いを頂戴いたしました。誠にありがとうございました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

私の職業は深川市におきまして、不動産業・アパート等の管理などを行っておりますが、90年代の半ばからの約15年間は札幌の時計台隣にある時計台ビルの14階にある、FM北海道にてFMラジオの番組を担当しており、テレビにも

少し出演をしたり、司会をしたりしていました。ロータリーに入会して30年になり、大きな役目をいただきました。現在マスコミにおきましても、ラジオテレビ等の収録でも大変困難な時代を迎えているのは、皆様もご承知の所と思います。コロナ不況によってスポンサーが脱落していく、降板していく状況が続く、どの業界も大変な時期を乗り越えようと頑張っております。

私達ロータリークラブの事業継続と予算の執行、新型コロナの感染拡大の防止ということで上半期は順調に活動を進めて参りましたが、下半期に入り、この3ヶ月間は福士会長さん、串橋幹事さん、理事役員皆さんは大変苦勞をされたと思います。これは100年~200年に一度の有事と言われておりますので、皆で工夫をしながら私達らしいロータリー活動を進めていかなければならないと思います。2510地区は12のグループに別れ、12名のガバナー補佐がありますが、私達もほとんどがリモート会議であり、実際に会ったのは1回ぐらいいきありません。ガバナーも50名以上の会議で話したことが無いのではなかろうかと思ひます。普段であれば地区協議会やベッツなどもあり、600名~700名の前でお話をされますが、皆さんに会えない事から各クラブへの公式訪問を心待ちにしております。飲み物も食べ物もいらないので、とにかく70クラブに足を運んで皆さんの顔を見たい、声を掛け合いたいとの望みが私の所まで届いております。深川クラブが通常の会長幹事会、クラブ協議会、例会となりますが、留萌クラブさんも同じ形式だと思ひます。歴代のガバナーが言っておられました、留萌クラブへ訪問する時は前日から参加したいと言っておられたので、留萌クラブの接待が大変受けているんだと思ひますので、今年度の公式訪問では私達も参加をしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

今年度の記憶に残っているのは、毎月発刊されるガバナー月信で、福田ガバナーと加藤ガバナー補佐が参加した吞涛祭りの写真がガバナー月信の表紙を飾りました。まさに第1グループ留萌クラブここにあり、という写真でした。地

区としては次年度も留萌ロータリークラブが新春記念1月号の表紙の写真を飾っていただければという事で、締め切りが11月末までとなっておりますので、よろしくお祈りします。留萌クラブには高い親睦、高い奉仕の精神があり、今年度は60周年を迎える年に当たりますので、60周年のプレゼンとして利用されてもOKですのでよろしくお祈りします。

新年度は現在の福士会長さんが苦勞されたような事が待っているかもしれませんが、地区大会も10月から5月に変更されての1年になります。留萌クラブさんも最後の最後で60周年というグランドフィナーレが待っておりますので、私自身もガバナーに色々なお祈りもいたしますし、地区として、グループとして、奉仕の仲間として応援をさせていただきますので、今後ともよろしくお祈りいたします。

最後に、次年度1年間私に同行いたします、パスト会長の佐々木ガバナー補佐室長をご紹介します。年間4回の訪問が許されておりますので、これから1年間よろしくお祈りします。



「委員長退任挨拶」

鈴木 クラブ会報・広報委員長

今年も1年間無事に委員会活動を終える事が出来ました。上半期は色々な事業がありました。下半期に入りコロナの関係で例会が休会になり、会報の発行回数が何回になったのか、数えるのが大変でした。とにかくまた例会が開催されることをうれしく思います。次年度においてはコロナが終息に向かう事を期待して、委員長退任の挨拶と致します。

菅 会員増強副委員長

委員長が途中で退会され、急遽私に退任挨拶をして下さいと言われたのが40分前で、何も考えていませんでしたが、委員会としては例会で担当例会を引き受け、例会プログラムを開催いたしました。留萌クラブの足跡をたどり、会員増強に励もうとプログラムを考えましたが、その時に森委員長は「菅ちゃん、ありがとう。今

度おごるわ。」と言っていたのですが、その約束も果たさぬまま、彼は遠くへ行ってしまいました。会員増強は1年単位ではなく、毎年の課題です。今年やった事が、次年度の増強に役立てればと思います。1年間ありがとうございました。

関野 社会奉仕委員長

社会奉仕委員長の担いがようやく終わります。入会3年目のわたくしにとって充実した1年でありました。また会長をはじめ会員の皆さんとより多くのことについてはお話を重ねることができ、クラブのことをよく知る機会となりました。

特に印象深い事業として、やはり地区補助金事業白井氏講演会となります。前段での予算組が甘かったこと、会員の皆様への追加負担金徴収など…。事業は大盛況に終わりましたが、非常に反省を残す結果となりました。当初委員会を開催し、どんな事業を構築するか迷っていた私に、山本会員から『委員長なんだから好きなことがやればいいんだ!!…』背中をぐっと後押しされましたが。現実はそのあまくなかったですね。

本日は退任挨拶ということで、本来であれば5月社会奉仕担当夜間例会にて本事業の報告を予定しておりましたが、残念ながら新型コロナウイルスの関係で例会が中止となりました。地区補助金事業白井事業のアンケート結果と地区補助金事業報告と併せて、発表させていただきます。

主催は留萌ロータリークラブ。プロジェクト名は社会奉仕青少年育成事業『君よ光れ!』スポーツクリニック及び指導者育成セミナー。講演名は未来をつくる魔法の言葉～白井流ダイヤモンドの磨き方～『潜在能力を発揮させるメンタルコーチング』『チームや組織における人の伸ばし方・活かし方』。後援として、留萌市、北海道留萌振興局、留萌市教育委員会、留萌軟式野球連盟、留萌HERO'S少年野球協会、北海道日本ハム留萌地区後援会。開催日時は11月17日(日)13時30分～15時。会場は留萌市中央公民

第34回 6月17日(水) 天候/曇

館講堂小ホール。参加人数は約300～350名。アンケート結果については220名回集/300名配布(73.33%)。参加年齢は10～70代多世代にわたり参加。来場者地域については留萌市内管内をはじめ札幌圏旭川圏からの来場もありました。プレスとして日刊留萌様、北海道新聞様に協力。アンケート要望意見コメント欄については、『非常に良かった。』『時間があっという間にすぎた。』『ロータリークラブの活動を理解した。引き続きこのような事業を継続して実施してほしい。』『子供たちのために今後の活動を継続してほしい』、などといった多数喜びの声と当クラブに対して激励のお言葉をいただきました。

続きまして、地区補助金事業の報告をさせていただきます。

講師スケジュールの関係上、日程変更となりましたが、上記実施日時・開催場所にて本事業を開催いたしました。前日からの悪天候により、当日の講演会の動員が心配でしたが、開場と同時に会場はほぼ満員となり、大盛況に終えることができました。

本講演は、講師白井一幸氏のこれまでの実体験をもとに、チームや組織における人の伸ばし方・活かし方、潜在能力を発揮させるメンタルコーチング、また今どき世代の若者の育て方や組織においての管理職がこれから求められることをテーマに幅広い世代へ夢を持ち続けることの重要性について、次代を担う地域の子供たち、また地域で活躍する一般市民へ広く伝えることができました。また、講演内で特に印象に残った点として、留萌管内のスポーツ少年団や幅広い世代の来場者が講師の話にしっかり耳を傾けメモをとっている姿には会員一同胸を打たれる瞬間でありました。何より、本事業を通して会員一同が奉仕のあり方を見つめ直す機会となったこと、さらには各関係機関の皆様と奉仕の輪を広げていけたことは、会として喜ばしいことであります。今後もこの経験を生かして、次代が求める奉仕の理想を追求し、地域に必要とされるクラブとして、クラブの活性化へつなげて参る所存です。

結びに、本事業の趣旨をご理解していただき

多大なる後ろ盾をいただきました国際ロータリー 2510地区福田ガバナーをはじめ地区役員の皆様へ深く感謝を申し上げ、国際ロータリー 2510地区2019-2020年度、ロータリー財団地区補助金(DG)の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

以上ともちまして、社会奉仕委員会委員長退任挨拶とさせていただきます。1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

渡邊 例会運営委員長

創立60周年を目前に控え、留萌ロータリークラブ初めての女性の会長ということで、気合を入れて例会運営委員長をお引き受けいたしました。2月までは会員各位の皆様、また外部の講師の皆様のご協力をいただき、順調に例会を開催することができましたが、3月以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため例会を休止せざるを得ない事態となり、例会の担当を予定されていた講師の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。ロータリアンにとって例会を開催できないこと、会員の皆様と例会でお会いできないことが、これほどまでに寂しく、つらいものかと痛感いたしました。今年度は、あと2回の例会を残すのみとなりました。一刻も早く新型コロナウイルスが終息し、皆様とまた楽しい例会を開催できることを心より願ひまして退任の挨拶といたします。